



熊本県
宇土市勢要覧

人に元気を!
まちに元気を!



みんなで作ろう元気な宇土市！



熊本県宇土市長
元松 茂樹

発刊にあたって

宇土市は、熊本県のほぼ中央部に位置し、古くから政治・文化の中心地として栄えてきました。現在も県内の主要道路や鉄道が集中しており、通勤や通学、買い物、余暇活動などの日常生活において交通の利便性が高く、住みやすい都市です。今日の社会は、少子・高齢化社会の到来、国際化・情報化の進展や厳しい社会経済状況、環境問題などの課題が山積みしております。特に、昨今の経済情勢は景気の持ち直しの動きが鈍化し、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、本市では、長期的展望に立って、安定した雇用と地域活性化に取り組むことが急務だと考えております。また、昨年3月の九州新幹線全線開通は、定住人口と交流人口増加の絶好の機会といえます。

このため、2年目を迎える第5次宇土市総合計画（愛称：元気プラン）に定めた本市の将来像「みんなで作ろう元気な宇土市」を目指し、「元気のある・住んでみたい・住み続けたい宇土市」の実現に向け、小さくても誇りの持てるまちづくりを進めてまいります。

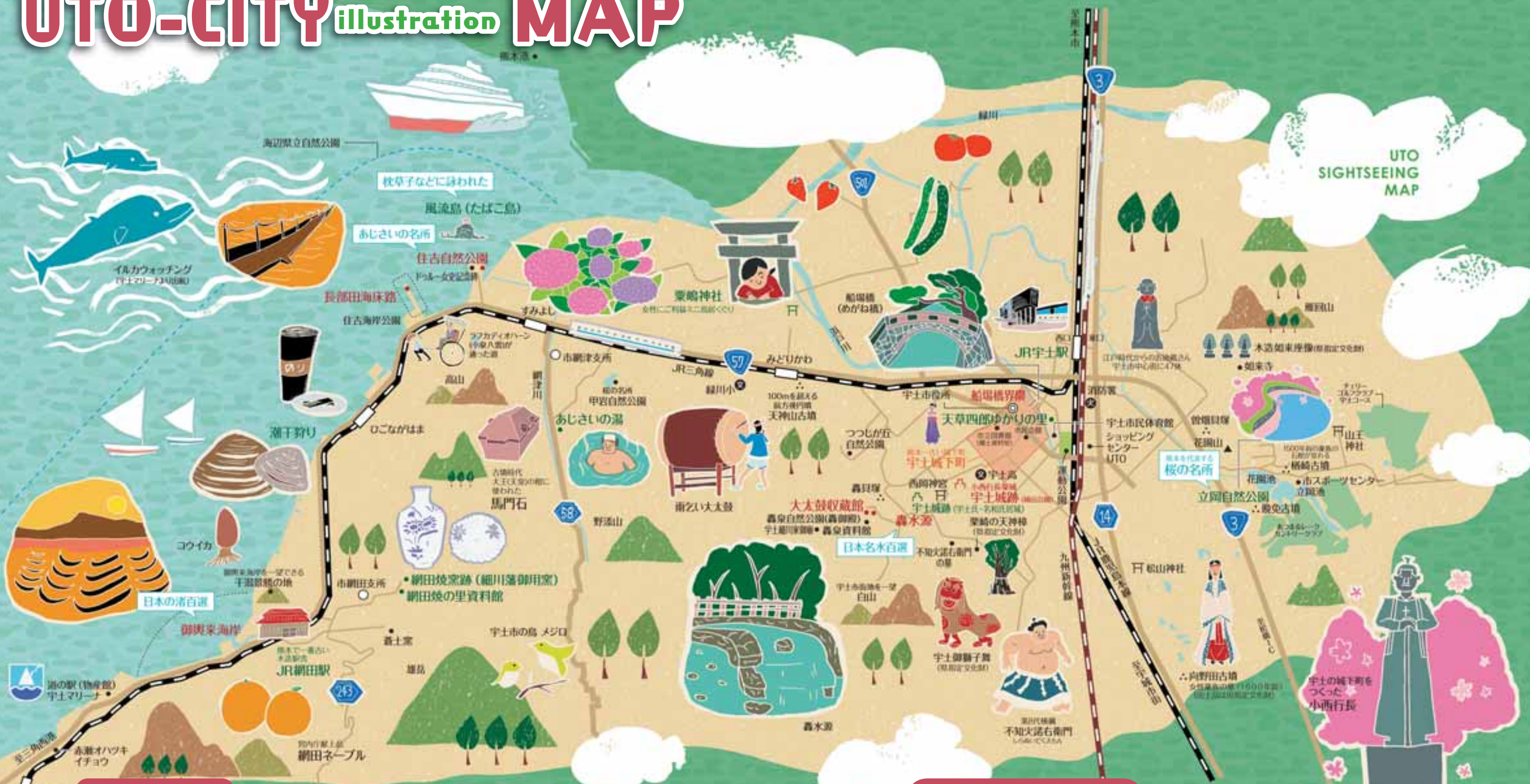
この市勢要覧がさらなる歩みを始めた宇土市を理解していただくため、少しでもお役にたてば幸いに存じます。

CONTENTS

■発刊にあたって	
■イラストマップ	2
■観光・祭り・イベント	4
■生活・環境	6
■保健・福祉・医療	7
■産業・経済	8
■都市基盤	9
■教育・文化	10
■議会・行政	11
■統計資料	12~31
■宇土市のあゆみ	

UTO-CITY illustration MAP

UTO
SIGHTSEEING
MAP



特産品



網田ネーブル

温暖で肥沃な土壌を有している宇土はネーブルの産地。太陽の恵みをたっぷり浴びて完熟したネーブルは味も香りも最高。



海苔

日本有数の遠浅を誇る有明海では、海苔をはじめ、いか、あさりなどが採れ、磯の香りと味を満喫することができます。



甲イカ

表面に紋のような模様があるのが特徴。宇土を代表する肥後の良質のもち米を1月から4月までが旬で、肉厚で柔らかい身は、刺身や天婦羅など様々な料理にお勧めです。



宇土餅・小袖餅

宇土を代表する肥後の良質のもち米を使った一口サイズの可愛い餅です。子どもからお年寄りまで人気です。

伝統工芸品



網田焼

光が透けるほどの薄さと繊細な紋様が特徴。寛政4年、肥後細川藩の御用窯として興った格調高い白磁器で、幕府への献上品として生産されていた。



本手打包丁

500有余年の歴史を誇る川尻手打包丁の流れをくむ伝統と新しい技術に培われた本手打の技。切れ味、耐久性抜群で柄腐れ防止に優れた逸品です。



地唄三味線の駒とばち

九州地唄三味線の駒とばちは熊本が発祥の地です。明治の初めに制作が始まり、今日でも受け継がれた秘法を伝承しています。



立岡自然公園 約2千本の桜が咲き誇る県下屈指の桜の名所



住吉あじさい公園
毎年、6月中旬に紫陽花マンドリンコンサートを開催



大太鼓フェスティバル 毎年、8月第1土曜日に開催



船場橋(めがね橋)
文久元年に架橋され、今なお昔の面影を残す。赤味を帯びた馬門石の輪石が特徴



大太鼓収蔵館
26基の大太鼓を収納



粟嶋神社
安産や子宝、無病息災にご利益があると言われるミニ鳥居くぐりが有名



菖蒲園 轟泉自然公園の一角にある菖蒲園

宇土市魅力の春夏秋冬

豊かな自然や文化・歴史、優れた伝統工芸品など多彩な観光資源に恵まれた宇土市。

私たちは、より多くの人に宇土市の魅力を知っていただきたいと、情報発信に努めています。



マリンスポーツ
宇土マリーナでは、ヨットのほかクルージングも楽しめる

うと地蔵まつり
約360年の歴史がある肥後三大夏祭りの一つ



風流島
住吉自然公園から見ることができる無人の小島。枕草子や伊勢物語にも詠われている

名月茶会
箏と尺八の優雅な調べを聴きながら、轟水源の水でたてたお茶を満喫



御輿来海岸 日本渚百選に選ばれた海岸



マリンフェスタ 宇土マリーナで開催



道の駅 宇土マリーナ
平成18年には宇土マリーナ物産館「おこしき館」もオープン



山王まつり
旧暦の11月申の日に山王神社で行われる。申に扮した若者たちが「ホーライ、ホーライ」の掛け声とともに徳利を奪いあい、甘酒を掛けあいながら、無病息災を願う

生活・環境

みんなが安心!
暮らしを守り自然を守るまちづくり



●日本の名水百選に選ばれた「轟水源」



●「船場川クリーン作戦」



環境保全

地球規模での環境問題に的確に対応するため、総合的かつ長期的な視点にたった環境対策や環境教育、地域での環境保全活動を積極的に実施していくとともに、分別収集の徹底や資源ごみの有効利用など、資源循環型社会の構築に努めています。



安心・安全

あらゆる災害、事故、犯罪などから市民の生命と財産を守り、みんなが安心して暮らすことができるように、消防・防災・救急体制の充実を図るとともに、交通安全対策の充実、防犯など地域の安全対策に取り組んでいます。



●地域で活躍する消防団による「消防点検」



●各地区で行われる「交通安全・防犯教室」

保健・福祉・医療

みんなが元気!
健康で安らぎのあるまちづくり



子育ての援助を受けたい方と援助を行いたい方が会員になり、お互いが助け合う「宇土市ファミリーサポートセンター」。家庭的な雰囲気での活動が行われています。

子育て支援

安心して子どもを産み育てることができるよう、子どもたちの心身が健やかに育まれるよう、地域全体で子育てを支援する環境の整備に取り組んでいます。



●高校生の赤ちゃんふれあい体験
未来を担う若い世代にも子育ての楽しさ、大変さを体感してもらうことを目的とした「高校生の赤ちゃんふれあい体験」



●病児・病後児保育
病気や病気の回復期で家庭で保育ができない児童をお預かりします。



●介護予防サポーターを養成

高齢者・障がい者(児)福祉

高齢者や障がい者(児)が住みなれた地域社会で生きがいを持ち、安心して自立した暮らしができるように、社会参加の拡大と生きがい対策を推進するとともに、地域全体で支援する体制の確立や支援サービスの充実に取り組んでいます。

健康づくり

市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるよう、生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりの取組みを推進するとともに、地域における保健医療体制の充実に取り組んでいます。



●ヘルスメイト(食生活改善推進員)による料理教室



●市福祉スポーツ大会(屋内ベタンク競技)

産業・経済

みんなが豊か!
豊かで活気あふれるまちづくり



●「有明のり」で有名なのり養殖



●田植え体験



●耕作放棄地でジャガイモを収穫



●世界のアジサイでまちづくり「紫陽花ストリート展」



農林水産業

生産基盤の整備や担い手の確保、特産品の開発、地産地消の推進と安全で安心できる食環境の創出などにより、地域特性を活かした農林水産業の振興を図ります。



●商店街活性化事業の一つである「うと100円商店街」

商工業

多様化、高度化する消費者ニーズに対応するため、商業の育成と市民が集う商店の形成など、まちづくりと一体となった商業の振興を図ります。

また、地場産業育成のための経営支援や技術力向上支援などに取り組んでいます。

都市基盤

みんなが便利!
快適な生活を支えるまちづくり

都市基盤

熊本県のほぼ中央に位置する地理条件を活かすため、快適で利便性に富んだ都市づくりを推進するとともに、より安全で良好な居住環境の整備に取り組んでいます。



●地域みんなで美しいまちづくりに取り組む「花いっぱい運動」



●緑の少年団によるヤマモミジの植栽

●新しくなった宇土駅西口広場。
中心市街地に通じる宇土駅本町線も
含め駅西側が再生



●国道3号側からの利用が可能となった宇土駅東口広場

教育・文化

みんなで育む!
伝統と学びに感謝のまちづくり



●勇壮に舞う「宇土の御獅子舞」(西岡神宮秋季例大祭)



●豊かな心の育成と文化芸術への関心を高めることを目的にスタートした「太鼓アウトリーチ事業」



●宇土マリーナで開催されるジュニアサッカー



●小西行長公の功績を伝えるドキュメンタリードラマが放映

教育・文化

古代から今日に至るまでの様々な文化遺産や伝統を大切に残し、後世へ受け継ぎ発展させていくために、文化の醸成に取り組んでいます。

また、「郷土を愛する心、豊かな心を持った世界に羽ばたく人を育む」を基本理念とした「宇土市教育立市プラン」の実現に向けて、子どもたちの生きる力を育む教育、郷土の文化・歴史、人の素晴らしさを再認識できる教育環境、そして生涯学習の推進に取り組んでいます。

宇土小学校



●県内の小学校では初となる県の「アートポリス事業」を活用して建替えが行われた宇土小学校新校舎・屋内運動場と網津小学校新校舎

網津小学校



議会・行政

みんなで実現するまちづくり



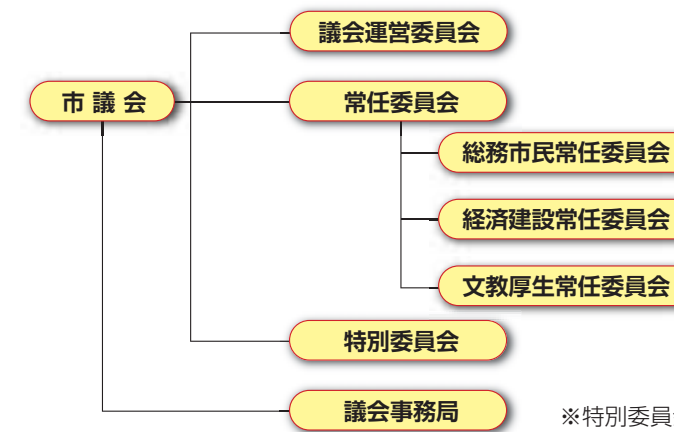
議会

現在、17人の市議会議員が市民の意思を代表し、議会等で活動しています。議決機関として、市の条例や予算など、市政を進めていくうえで大切な事柄を慎重に審議し、さらなる市民生活の向上、市発展のため力を注いでいます。



●市役所庁舎

市議会の組織図



※特別委員会は必要に応じて設置



●子どもの自由な発想や視点から捉えた質問や意見を発表する「子ども議会」



●「市民ふれあい座談会・市長と話そう!」

行政

地方分権が進展していく中で、市民の主体的なまちづくりへの参画と協働など、市民、事業者、行政など本市を構成するみんなの力でまちづくりを進めていく必要があります。このため、積極的に情報の共有化を進めるとともに、協力しながら、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。